

～三重県MSW協会 全体研修のご案内～

「実践を言語化する意義と方法」

平成27年11月2日

この世で最悪の悲劇は

力強いアイデアが正しく伝えられず

頭で停滞している事である

(クリス・アンダーソン)

皆さんは、自分自身や所属組織としてのソーシャルワーク実践についてどのように言葉にし、伝えられていますか？実践の言語化は、研究や報告のためだけではなく、クライアントや組織、地域などにMSWを知ってもらい、理解を深めてもらう、アピールするために不可欠となります。

今回の研修では、講師に三重県のご出身でソーシャルワーカーの実務経験もあり、スウェーデン・日本両国での社会福祉政策比較の他、スーパーバイズ等を通じたソーシャルワーカー育成にも非常に精通する訓覇法子先生を講師としてお招きし、“研究や報告のため”のみではなく、MSWの専門性の視点から「実践を言語化する意義と方法」について学びます。我々が日々患者の支援等を通じて行う“実践としての社会福祉”とともに、より確かで根拠に基づくソーシャルワーク実践を目指すために“科学としての社会福祉”をどのように捉える必要があるのか等について、改めて基礎から深めたいと思います。

学会や報告会等での発表をお考えの方の他、学生、新人、ベテランを問わず少しでも関心のある方はぜひ奮ってご参加下さい。

【日時】平成27年12月5日（土）

受付開始 13時00分

13時30分～16時30分 講義・演習

【会場】松阪市産業振興センター

2階 人材育成講座室

住所：三重県松阪市本町2176番地

TEL：0598-26-5557

【講師】日本福祉大学教授 訓覇法子 先生

【参加費】会員・学生・院生：無料

非会員：1000円

【テーマ】「実践を言語化する意義と方法」

※内容詳細については、改めて追加のご案内を致します。

【申込み】別紙申込書にご記入の上、

FAXでお申し込みください。

※開催日、会場が総会資料の年度研修計画と変更になっておりますので御注意下さい。

【講師】

くるべ
訓覇 法子 先生

日本福祉大学 教授



【ご略歴】

日本福祉大学社会福祉学部卒業、ストックホルム大学社会福祉学部卒業、ストックホルム大学大学院社会福祉学部大学院博士課程修了、ストックホルム大学社会福祉学部大学院研究助手・研究員（Senior Researcher）（1995～）、日本福祉大学社会福祉学部客員教授（1996～2000）、日本福祉大学赴任（2000）。

【主な著書】

『実践としての・科学としての社会福祉：現代比較社会福祉原論』法律文化社
『社会福祉調査論』日本福祉大学
訳書『認知症ケアの自我心理学入門』クリエイツかもがわ 等

平成 27 年度三重県医療ソーシャルワーカー協会研会修申込書

「実践を言語化する意義と方法」

〆切 12 月 1 日(火)

送付先 みえ川村老健 FAX 059-355-3831

参加者氏名	会員資格	参加者氏名	会員資格
	会員・学生 院生・非会員		会員・学生 院生・非会員
	会員・学生 院生・非会員		会員・学生 院生・非会員
	会員・学生 院生・非会員		会員・学生 院生・非会員
	会員・学生 院生・非会員		会員・学生 院生・非会員
	会員・学生 院生・非会員		会員・学生 院生・非会員
	会員・学生 院生・非会員		会員・学生 院生・非会員
所属機関		連絡先電話番号	
「実践の言語化の意義と方法」に関連して聞きたいことなどを記載下さい			

※同一所属機関の方は、まとめてご記入いただきお申し込み下さい。

省資源のため本紙のみで送信してください